

## アジアデジタル共通通貨（ADCC）の新たな提案

### —新たな技術的提案と金融政策等の諸問題—

乾泰司 国際協力機構専門家、アジア開発銀行コンサルタント  
高橋亘 大阪経済大学 経済学部教授  
神戸大学経済経営研究所リサーチフェロー

本研究では、既発表の二論文に続き、我々が提案しているアジアデジタル共通通貨（ADCC）について、技術面として、ブロックチェーンの活用の意味、匿名性の維持の工夫などもあらためて論じたあと、アジアデジタル共通通貨（ADCC）建債券の発行に際して分散台帳技術（DLT）の活用をあらためて論じている。

またそれに先立って、ADCC が国際通貨であることに鑑み、国際的なデジタル通貨間の競争についても検討している。デジタル通貨の特性が地理的な制約を超えて特にクロスボーダー取引に利便性を持つことを特性としていることを踏まえれば、潜在的に国際的な競争を生む可能性は大きい。そのような状況での各国の金融政策や金融安定へ影響も検討している。

デジタル通貨については単に既存の紙幣がデジタル化するという意味を超えて、様々なデジタル財の誕生にも象徴されるデジタル経済の発展への対応、また通貨のプログラム化といった通貨の技術的な発展という視点をもって論じていくことも重要であろう。ただし、これらは現時点では今後の発展は見通し難い。このためここでの議論はとりあえず仮想的なものであり、今後状況の変化とともに適宜見直ししていく必要のあることを予めお断りしたい。